

かいごの小部屋

認知症ケア委員会

認知症委員会では、職員の認知症に関する知識を深めるために各施設で様々な取り組みを行っています。



タクティールケア

タクティールケアとは、手で触れることによって皮膚と皮膚とを通じ行われるコミュニケーションに重点を置いた緩和ケアです。正規の講習を受けた職員が中心となり、タクティールケアを行っています。



回想法



昔の懐かしい思い出を語り合ったり、誰かに話したりすることで脳が刺激され、精神を安定させる効果があります。ボランティア「思い出そう会」の皆さんと、農作業の話をしたり、実際に脱穀体験をし、楽しめました。



研修会



「しわ」というDVDを鑑賞。(認知症と終の住処についてどうやって向き合えばよいのか?をテーマにしたDVD) 職員がこのDVDを見て、認知症を発症し、症状が進行していく主人公の気持ちを疑似体験しました。認知症の方の気持ちをより理解し、今後の介護に生かすことを目的としています。